

多様な働き方

ーダイバーシティ社会の推進に向けてー

岡山県立岡山東商業高等学校 第2学年



1 教科等 総合的な探究の時間

2 単元名 「多様な働き方ーダイバーシティ社会の推進に向けてー」

3 指導上の立場

○題材(単元)観

本単元は、高等学校総合的な探究の時間学習指導要領の目標と、本校の教育目標である「豊かな知性と社会性を身につけ、積極的に社会の発展に参画・寄与できる人材を育成する」を踏まえて設定した探究課題である。

ダイバーシティ社会とは、多様な背景を持った人々や価値観を包含し受容する社会で、そこから生まれる創造性や競争力が社会の力の源泉ともなると注目されている。本単元では「ダイバーシティ社会」の実現のために、「社会を知る」「自分と社会をつなぐ」ための講演会や企業訪問などを通じて得た知識をもとに、多様な働き方について課題を設定し、集めた情報を整理・分析し、相手や目的、意図に応じてわかりやすく、論理的に表現する探究活動を行う。

また、地域の仕事や、その仕事に従事する人々に関する探究的な学習を通して、多様な働き方や企業活動と人権の関わりについて考え、社会の発展に主体的に関与しようとする意欲や態度を育成する。

○本題材(単元)で工夫する点や手立て

「多様な働き方」についての課題を、生徒たちが自分のこととして捉え直して考え、まとめたものを他者に分かりやすく伝えることを目的としている。そのために選んだ問題や課題を把握するため、既習の知識・技能やインターネットなどを活用して、情報を収集・分析し、まとめる指導を行う。

さらに、探究の過程と成果は、ロイロノートを用いて、分かりやすく表現し、他者に伝えるようにする。このような学習活動を通して、自分の考えを仲間と共有し、さらなる解決策を協働して考え、新たな問題発見・解決学習につなげていくことができるようにする。



4 単元の目標

社会の問題・課題を考える活動を通して、自分が社会と深く関わっていることを理解し、社会の形成者としての行動の在り方について考えるとともに、主体的に社会と関わろうとすることができるようになる。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解している。 - 社会の問題・課題に関する情報を適切かつ正確に収集している。	- 実社会の様々な問題における事実や関係を把握し、自分の考えを持っている。 - 視点を定めて多様な情報を収集し、分析している。 - 目的、意図に応じて論理的に表現している。	- 異なる多様な意見を認め特徴を生かしながら、協働して解決に向けた探究に取り組もうとする。 - 探究を通して、社会の形成者としての自覚をもって、社会に参画しようとする。



6 指導と評価の計画（全22時間）

	小単元名(時数)	ねらい・学習活動	知	思	態
第1次 4時間	第1時 オリエンテーション	これからの社会で必要な力や求められる人材、ダイバーシティについて学ぶ。	○		
	第2時 キャリアデザイン講演会	キャリアデザインについて知る。	○		
	第3時 プレゼンテーション講演会	効果的なプレゼンテーションの手法を学ぶ。	○		
	第4時 キャリアを考える講演会	自らのキャリアデザインについて考えるとともに、働く上での多様な価値観を知る。		○	
第2次 9時間	第1時 「地元企業を知る」事前学習	講演会で話を聞く企業について調べ、企業理念や働き方、環境への配慮の取り組み等を学ぶ。	○		
	第2～3時 「地元企業を知る」講演会 (17社来校、3社聴講)	仕事の魅力(ワーク)や働く大人のやりがい・想い(ライフ)に触れて、将来どう働きたいか等、「働く」ことについて考える。		○	
	第4時 企業見学事前学習	企業見学で話を聞く企業について調べ、企業理念や働き方、環境への配慮の取り組み等を学ぶ。	○		
	第5～8時 企業見学(各クラス2社訪問)	仕事の魅力(ワーク)や働く大人のやりがい・想い(ライフ)に触れて、将来どう働きたいか等、「働く」ことについて考える。		○	
	第9時 夏季休業中 身近な大人にインタビュー!	2学期からの個人探究に向け、働き方(高齢者雇用、障がい者雇用、外国人労働者との関わり、女性活躍や男性育休制度等)について聞くことで、自らの課題として捉える。			○

	小单元名(時数)	ねらい・学習活動	知	思	態
第3次 9時間	第1時 企業のダイバーシティ推進への取り組みを知る 講演会	企業で行われているダイバーシティ経営について具体的に学ぶ。	○		
	第2時 企業見学報告会	企業訪問のまとめとして、進路委員がプレゼンテーションを行い、企業の仕事内容や魅力、SDGsに関する取り組み、多様な働き方（ダイバーシティ）などを共有する。	○		
	第3～5時 ダイバーシティ学習個人探究	多様な働き方や生き方、企業の様々な取り組みについて学んだことをもとに分析を行い、考察を加えることにより、問いや仮説を深める。			○
	第6～7時 ダイバーシティ学習 グループ発表・クラス発表	まとめた情報、問いや仮説などから、特に伝えたいことについて適切な発表方法を選択し、分かりやすい発表を行う。		○	
	第8時（本時） ダイバーシティ学習 ポスターセッション	グループ発表やクラス発表で出た意見や考えを参考にまとめたポスターを使って、相手や目的に応じた表現を工夫し、わかりやすく発信する。ポスター発表を聞くことで、発表者がどんな問題意識をもっているかを理解するとともに、自分ならどうするか等について考える。		○	
	第9時 振り返り	学習活動のプロセスを振り返り、自分の将来について考える。多様な働き方について知ったことや自分が探究したことから、自分にできることや、キャリア形成ににどのようにつながっていきたいかを考える。			○



7 本時と人権教育

- ・ダイバーシティ社会を実現するための取り組み等を知ること、多様性に対する開かれた心と肯定的評価を育成する。
〈価値的・態度的側面〉
- ・活動を通じて、適切な自己表現を可能とするコミュニケーション技能や他者の考えを傾聴する姿勢を育成する。
〈技能的側面〉

8 本時案（第3次 第8時）

(1) 本時の目標

各クラス代表(2名、計16名)の発表を聞き、評価することを通し、ダイバーシティ社会を実現するための取り組みについて自分の考えを持つことができる。【思考・判断・表現】

(2) 展 開

人権教育の視点から特に重要なこと…★

学習活動	教師の指導・支援	評価規準 及び評価方法
1 学習課題を把握する。	○前時までの学習を振り返らせる。 ○本時のねらいを確認させ、活動の見通しをもたせる。	
ダイバーシティ社会を実現するための取り組みについて自分の考えを持つ		
2 発表するときや聞くときのポイント、相互評価の視点について確認する。	○本単元の目標やこれまでの学習過程から、ポスター発表で必要な評価の視点に気付かせる。 ○自分のスライドとの共通点や相違点に着目しながら発表を聞くよう助言する。 ★発表者の話を聞くことで、自分の考えが深まり、追求したい質問にもつながることを確認できるようにする。	
3 各クラス代表者の発表を聞く。	○各クラス代表による発表3分、質疑応答2分、移動1分で実施し、全体の様子を見ながら5～6回繰り返す。 ○発表中は聞くことに集中し、積極的に質問するよう呼びかけ、発表終了後に、ワークシートに記録をするように助言する。	行動観察 ワークシート
4 振り返り・まとめ	★本時の学習を通して、ダイバーシティ社会の実現について気づいたことや自分の考えをワークシートに記述させる。 ○ダイバーシティ社会実現に向けた企業の取り組みや、今回の活動を通して得た各自の気づきを、今後の進路選択、そして実社会で働く際に生かすように伝える。	・ダイバーシティ社会を実現するための取り組みについて自分の考えを持つことができたか。 【思考・判断・表現】 (行動観察・ワークシート)

(3) 準備物

○各クラス代表者：発表用ポスター（模造紙1～2枚もしくはPC作成し大判プリンタで印刷したもの）